

令和7年8月21日 00757号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

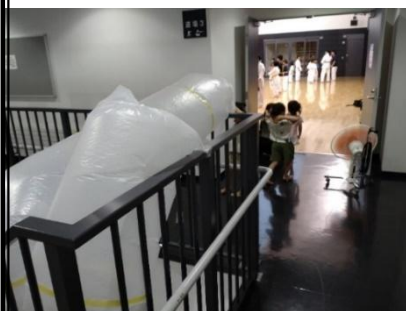
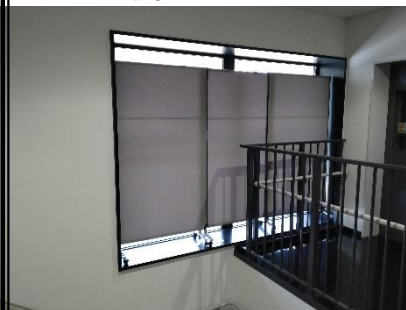
代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

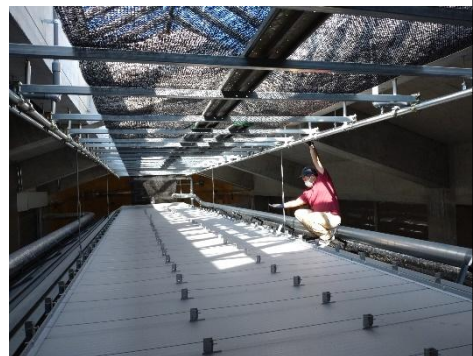
satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】 「道場3」の室温低下にトリプル効果！



北見市武道館の熱中症防止として行った3つの対策「①大窓からの直射日光の遮断：大窓（2F 階段横）を3枚のパーテーションで覆い、西日の直射日光を遮る ②冷風装置の設置：サーキュレーターとビニール袋を繋ぎ合わせたダクトで1階の冷気を2階へ送る ③天



窓からの直射日光の遮断：遮光ネットを天窓と屋根裏の明り取り窓の間に張り詰め、直射日光を遮断」を行うことで道場内の温度と湿度を下げることに成功しました。日差しが強く室内温度が35度と高くなりがちな2階「道場3」を利用する団体からは「とても快適です」と好評です。様子を視にきた北見市教育委員会スポーツ課の小島係長も「予

想以上だった！」と高評価です。北見市武道館では、今後も利用者の要望に応えることができるよう工夫を凝らし低コストで快適な環境整備に努めていきたいと励んでいます。（佐藤）

連載「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>二、指導上に心得べきこと

○個性の尊重 3 かかる場合、こういう修行者^{しゅぎやうしや}に対し、無理に、早くから本筋^{ほんすじ}に入れようとする^{かえ}と却って其人^{ひと}の特徴^{とくちょう}を失うことになる。指導者の注意すべきはこの点である。たとえば同じ技にしても、人によっていろいろの様式があり、稽古^{けいこ}の上にもさまざまな態度があるが、最初からこれを矯めて完全なものにしよう^{かんぜん}とすると、その人の特徴^{とくちょう}は萎靡^{いび}して了ふ。故に、その特徴とも云うべき点は、悪く不正なものでない限り、それを十分に伸ばして行き、適当な時期を見て、これを正しく指導^{しどう}しなければならない。不思議なのは、大成する士に限って大抵最初から円満な発達^{はったつ}は少ないもので、なぜか人の違った特徴を持っているもの、最初から本筋であるものは、そのまゝ^{つと}勉強^{おこた}めて怠^{みよう}らねば精妙^{しやうめう}に達し得る^{わけ}譯であるが、何ういうものか、かゝる人は概ね鍛錬^{たんれん}が足らずに終わるといような傾向を持ち易く、却って最初、偏った傾向を持った人の方が、百錬萬鍛して、ついに圓熟の境に入るものである。併し、茲^{こゝ}に考うべきは、かかる特徴のある修行者は、ややもすれば自己の技が相手を倒し得るといような考えに囚^{とら}われて、いつまでも無理を通すといようなけいこうを持ち易いことである。茲^{こゝ}に指導の必要が生じてくる。即ち前者に対しては、小成に満足せしめず、あくまでも勇猛心を振起させ、蘊奥^{うんおく}に到達^{とうたつ}せしめねばならぬし、後者に対しては適当な機会を失わず本筋を悟らしむよう指導しなければならない。

勿論、以上のことと雖も、柔道修行上の原則を無視してもよいというものではなく、修行上通有の原則^{げんそく}の上に立つて、以上のような指導方法^{しどうほうほう}をとるといことである。つづく